第四次寝屋川市地域福祉計画の策定について

1 趣旨

本市では、平成28年3月に市の保健福祉のマスタープランとして「第三次寝屋川市地域福祉計画(計画期間:平成28年度から令和2年度まで)」を策定し、毎年度、計画に位置付けた活動・事業の進捗を把握・評価し、地域福祉の推進を図ってきました。

当該計画の計画期間が令和3年3月31日で終了することから、これまで取り組んできた施策の成果、社会福祉法の改正、国・府の動向等も踏まえ、今後、ますます多様化・複雑化する地域課題に的確に対応するため、第四次寝屋川市地域福祉計画(計画期間:令和3年度から令和7年度まで)を策定することとしました。

なお、より一層、公民の役割や協働を明確化し、実効性のある計画とするため、第四次寝屋川市地域福祉計画の策定に当たっては、社会福祉協議会が策定する「第三次寝屋川市地域福祉活動計画」と連携して策定します。

また、第四次寝屋川市地域福祉計画には、次の事項を包含した計画とする方向で検討します。

- (1) 「市町村地域福祉計画及び都道府県地域福祉支援計画の策定について(平成26年3月27日社援0327発第13号厚生労働省社会・援護局長通知)」において示されている、生活困窮者自立支援方策について、市町村地域福祉計画に盛り込む事項(第三次地域福祉計画からの継続)
- (2) 「成年後見制度の利用の促進に関する法律(平成28年法律29号)」第14条に規定されている、成年後見制度の利用の促進に関する施策についての基本的な計画に関する事項(第四次地域福祉計画からの新規事項)

2 計画策定の流れ

計画策定のための事前業務内容

① 現状把握

・人口構成や世帯、要介護者の状況などの経年変化、地域資源の状況、行政統計資料などを整理し、地域社会の現状と動向を分析

② アンケート調査

- ・市内在住の 18 歳以上の市民 3,000 人を住民基本台帳から無作 為抽出
- ・地域課題や問題点、地域福祉に対する考え方等を把握、分析

③ 関係団体ヒアリング

- ・市内で活動している地域福祉関係 団体 600~700 団体に対しアン ケート調査票を配布
- ・関係団体からみる地域課題等について把握、分析

④ 自助・共助・公助の視点による事業 の棚卸しと現行計画の事業評価

・福祉関連計画における関連事業を 抽出し、自助、共助、公助の考え方 で分類して、市・社協における地域 福祉に係る取組を整理

計画策定の流れ

- ・国、府の方針や市の関連計画における課題や方向性等を整理するとともに、統計や既存のアンケート調査結果といった基礎データを整理し、寝屋川市の地域特性を把握した上で次期計画の体系立案に向けた課題を抽出
- ・抽出した課題をもとに、計画の体系(基本目標、基本施策)を立案し、基本施 策ごとに課題と方向性を整理し、関連する事業を位置づけた上で計画に反映 させていく
 - ①市の関連計画や統計資料を踏まえた地域特性分析(SWOT分析)を行い課題の視点を抽出し、仮説を設定
 - ②地域福祉関連事業の統計データ(アウトプット評価)や、既存の関連計画アンケート調査結果(アウトカム評価)等の根拠データにより、仮説検証を踏まえた課題を整理
 - ③地域特性分析から導き出される課題をもとに次期地域福祉計画の体系を立案
 - ④立案した次期計画の新体系をもとに、基本施策ごとに 課題と方向性を整理
 - ⑤整理した課題・方向性をもとに、関連する事業を位置付け、市の具体的な取組を整理し、計画に反映

⑥推進目標等の設定

3 委員会のスケジュールと審議内容(予定)

年月	審議内容(予定)
9月30日	○第1回地域福祉推進委員会【審議内容】・市民及び関係団体アンケート調査票の内容について
12月下旬(予定)	○第2回地域福祉推進委員会【審議内容】・アンケート調査の分析内容について
令和2年 3月中旬(予定)	○第3回地域福祉推進委員会【審議内容】・アンケート調査結果の報告・アンケート調査からの課題について
6月下旬(予定)	〇第4回地域福祉推進委員会 【審議内容】 ・アンケート調査、実施事業の評価・課題、統計データからの課題について
8月下旬(予定)	○第5回地域福祉推進委員会【審議内容】・基本理念、基本目標、施策等について
10月下旬(予定)	○第6回地域福祉推進委員会【審議内容】・計画書素案について①
11 月中旬(予定)	○第7回地域福祉推進委員会【審議内容】・計画書素案について②
令和3年 2月下旬(予定)	○第8回地域福祉推進委員会【審議内容】・パプリックコメントの意見及び対応策・第四次寝屋川市地域福祉計画・地域福祉活動計画案の承認

4 アンケート調査の概要

(1) 趣旨

市民から日常生活の現状や意識、福祉サービスや地域づくりに関する意見を把握するとともに、地域福祉の担い手である関係団体に対し、地域福祉活動を行っていくうえでの問題点・課題や活動を行っている中で感じる地域が抱えている課題などを分析し、次期計画の策定のための基礎資料としていきます。

(2) 調査対象者

市民ニーズ調査	市内在住の18歳以上の市民3,000人を住民基本台帳か ら無作為抽出
地域福祉関係団体ニーズ調査	市内で活動している地域福祉関係団体600~700団体

(3) 調査時期

10月発送予定

(4) アンケート調査の主な設問項目

ア 市民アンケート調査

設問の視点	設問内容
◆地域の交流の場、地域の	◆回答者の基本属性
課題を把握する場	◆年齢、居住地域、家族構成等
◆地域での相談の体制、地	◆日常生活での困り事や相談相手について
域のネットワーク	◆住んでいる地域での暮らしに関することについて
◆災害に対する対策、日頃	◆社会福祉協議会の活動の認知状況等について
からの見守り	◆災害時に対する意識等について
◆ボランティア、地域活動	◆福祉に関する活動について
の活性化	◆生活困窮者等に対する対策について
◆ <mark>成年後見制度の利用促進</mark>	◆成年後見制度について

イ 地域福祉関係団体アンケート調査

設問の視点	設問内容
◆地域、他の団体・機関等と	◆地域、団体・機関等との連携等について
の連携	◆活動情報の発信について
◆団体の活動上の困りご	◆活動を行う上での困りごと・課題について
と・課題	◆活動を行う中で感じる、地域福祉の意識について
◆活動から見える地域の状	◆活動を行う中で見える、地域の困りごと・問題につい
況	て
◆成年後見制度の利用促進	◆成年後見制度について
◆団体と行政との協働	◆今後の団体と行政との協働で取り組めることについて